

令和7年度

第1回鴨川市図書館協議会次第

日 時 令和7年5月20日（火）
午後3時から
場 所 鴨川市立図書館 集会室

- 1 開会（館長あいさつ）
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 議 題 (1) 令和6年度鴨川市立図書館事業報告について
 (2) 令和7年度運営方針・実施概要等について
- 6 その他
- 7 閉 会

鴨川市図書館協議会委員名簿

【設置根拠】 図書館法第14条第1項、第15条
鴨川市附属機関設置条例第2条、第3条第1項

【任期】 2年 令和6年5月1日から令和8年4月30日まで

番号	氏名	住所	備考
1	さいとう あやね 齋藤 彩音	鴨川市広場	学校教育の関係者「鴨川中学校教諭」 令和7年5月1日～（1期目・残任期間）
2	かめだ たかこ 亀田 貴子	鴨川市坂東	学校教育の関係者「田原小学校教諭」 令和6年5月1日～（1期目）
3	やまぐち けんいち 山口 健一	鴨川市横渚	学校教育の関係者「長狭高等学校校長」 令和4年5月1日～（2期目）
4	たかはし かずお 高橋 和夫	鴨川市八色	社会教育の関係者「鴨川市子ども会育成連盟顧問」 平成30年5月1日～（4期目）
5	やまぐち みき 山口 美紀	鴨川市江見青木	家庭教育の向上に資する活動を行う者「図書館ボランティア」 令和6年5月1日～（1期目）
6	わたなべ たかし 渡邊 隆	鴨川市西町	学識経験を有する者「元公立高等学校校長」 令和4年5月1日～（2期目）

令和6年度鴨川市立図書館事業報告

「赤ちゃんからご高齢の方まで、みんなに親しまれ利用される図書館づくり」を目指して

対象	行事名等	開催日等	概要	参加者等
幼児向け	おひざにだっこのおはなし会	毎月第2 (木) 10:00～	赤ちゃん向けのおはなし会を実施。 8月は実施なしで、年間11回開催。 *6月にぬいぐるみのおとまり会を同時開催。	229人 (平均21人)
	赤ちゃんに絵本の贈り物事業	随時	鴨川市内で誕生した乳児に対し、絵本1冊と記念のバッグ、赤ちゃんにおすすめの絵本リストをプレゼント。	対象127人 引換86人 引換率 67.7%
	世界の絵本を楽しもう!	8/24 (土) 10:00～	世界のグローバル化が進む中、様々な言語での読み聞かせを体験することで、その国の言葉や物語に興味を持ってもらうことを目的とする事業。 令和6年度はタガログ語で実施。 講師:小山内カナエ氏(鴨川市国際交流員)	20人
児童・生徒向け	おはなしひろば	毎月第4 (土) 13:30～	小学校低学年までを対象としたおはなし会を実施。 7月、8月は実施なしで、年間10回開催。 *9月にぬいぐるみのおとまり会を同時開催。	102人 (平均10人)
	なかよしひろばおはなし会	毎月第3 (土) 10:30～	小学校低学年までを対象としたおはなし会を大山公民館図書室にて実施。 年間12回開催。	57人 (平均5人)
	図書館こどもフェスタ	8/3 (土) ・ 8/4 (日) 共に 9:00～	1日目に、鴨川にまつわる大型紙芝居や特大サイズの「ふるさと鴨川カルタ」で、鴨川の歴史に親しんでもらった。また、3種類の工作をコーナーに分かれて作成。作成したものを参加者全員で飛ばす競争をして楽しんだ。2日目には講師をお招きして「オーシャンボトル」の工作を行った。図書館に親しみを持ってもらうための夏の行事。 講師:吉田富子氏	1日目 42人 2日目 32人
	子ども1日図書館員	6/23 (日) ・ 11/3 (日) 共に 10:00～	図書館の仕組みや役割を知り、図書館に親しみや関心を持ってもらう事を目的に実施。 第1回 江見小1人、鴨小1人、東条小6人、西条小2人 第2回 長狭小2人、東条小4人	第1回 10人 第2回 6人
	小中学校への配本事業「かもとしよ」	4月 ・ 10月	小学校の図書室に児童数に応じて100冊～200冊、中学校へは各クラスに40冊ずつ配本。児童・生徒の読書環境の充実を図った。	7小学校 3中学校
	平和を考える「映画上映会」	8/11 (日) 13:30～	平和について考える映画会として開催した。 上映作品 「小さい潜水艦に恋をした でかすぎるクジラの話」	20人

令和6年度鴨川市立図書館事業報告

対象	行事名等	開催日等	概要	参加者等
成人向け	本のリサイクル市	12/1 (日) 9:30～	市民から寄贈された図書のうち、図書館で受入れなかった図書を無償譲渡する行事。 *整理券を配布し、時間制限や人数制限をかけながら実施。	延べ 242人
	お話を楽しむ会	10/8 (火) ・ 3/11 (火) 共に 13:30～	名作や昔話をボランティアの朗読により楽しむ行事。 第1回 短編「三月十日」(『君が手にするはずだった黄金について』より) 第2回 「妻が椎茸だったころ」	第1回 7人 第2回 7人
	本の福袋	12/14 (土) 9:30～	図書館員がテーマ毎に選書した本を1袋に3冊ずつ入れ貸出。	60人
	名作とふれあう「映画上映会」	12/8 (日) ・ 12/15 (日)	名作とふれあう上映会として、映像による文学を楽しむ機会を提供。今年度は前後編で2日間に分けて実施。 上映作品 「デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士」	前編 14人 後編 13人
	文学講座 『源氏物語』は「若紫」から始まった！ ～物語作家、紫式部の才能を探求する～	10/27 (日) 13:30～	文学に関する講座や講演会。 令和6年大河ドラマに関連した「紫式部」を題材に講話。 講師：河地修氏(東洋大学名誉教授)	29人
	俳句講座 入門編・中級編	9/15 (日) ・ 1/26 (日) 共に 13:30～	古典文学や伝統芸能に親しむ事を目的に実施。難易度別に2回に分けて開催。 講師：東國入氏(長狭高校定時制教諭)	入門編 13人 中級編 11人
	開けましておめでとう袋	1/4 (土) 9:30～	「本のリサイクル市」で残った寄贈図書のうち、まだ活用可能な本などを福袋のように詰めて配布。	104人
その他連携事業	公民館図書館分室の運営	随時	遠隔地域の住民サービスとして、公民館へ図書館分室を開設。各公民館専用のカードを作成し運営。 曾呂公民館(約800冊) 大山公民館(約2,650冊) 江見公民館(約800冊) 天津小湊公民館(約4,550冊)	登録者 105人 200人 97人 258人
	公民館予約本受取サービス	随時	図書館まで来ることが困難な方のために、事前に図書館へ予約した本を近くの公民館へ届けるサービス。	101人 252冊

令和6年度鴨川市立図書館事業報告

対象	行事名等	開催日等	概要	参加者等
その他連携事業	出張おはなし会等	随時	他施設等からの要望により、出張による読み聞かせや朗読会を実施。 5/1、5/2、7/7 (株)良品計画(里のMUJI)読み聞かせ 5/22田原公民館(しらかば会)朗読会 12/26江見公民館(げんき花笠)朗読会	38人 16人 13人
	職員派遣等	随時	他施設からの要望により、図書室整備のアドバイスや読み聞かせ指導等の職員派遣を実施している。 5/31西条小学校(ブックカバーかけ指導) 6/26長狭高等学校(読み聞かせ指導) 7/18安房東中学校(本の補修指導) 11/13学校事務職員(小中学校との連携について研修)	6人 13人 10人 5人
	見学・体験等	随時	市内の小学2年生の社会科見学や、小学6年生や中学校の職場体験等の受入、また、土曜スクール等からの図書館見学の受入を実施。 5/29東条小、6/7田原小、6/14江見小 6/20西条小、6/25天津小湊小、6/26鴨小 6/27長狭小からの見学受入 7/3西条小6年仕事体験 11/26～28中学校職場体験 7/6・2/8西条土曜スクール図書館見学	小学2年生 193人 1人 3人 37人
	異業種体験、研修等	随時	新任教諭の研修や教職員の中堅研修、インターン研修等の受入を実施。 8/6長狭認定こども園 8/8江見認定こども園	蔭山教諭 鈴木教諭

令和6年度 鴨川市立図書館の概況

●資料数 (令和7年3月31日現在)

1) 図書	108,128 冊
うち 一般書	62,651 冊
児童書	30,716 冊
中高生図書	6,541 冊
郷土資料	7,141 冊
大活字本	1,079 冊
2) AV資料	1,512 本
3) 新聞	9 誌
4) 雑誌 (寄贈雑誌を含む)	45 誌

●利用状況 (令和7年3月31日)

1) 開館日数	289 日 (月平均 24日)
2) 利用者数 (入館者数)	55,010 人 (1日平均 190人)
3) 貸出人数	27,187 人 (1日平均 94人)
貸出冊数	109,251 冊 (1日平均 378冊)
うち 一般書	50,328 冊
児童書	53,358 冊
AV資料	1,324 点
雑誌	2,055 冊
公民館分室貸出数	263 冊
相互	1,923 冊

4) 貸出登録者数 (令和7年3月31日現在)

鴨川地区	6,026人	61.0 %
長狭地区	990人	10.0 %
江見地区	1,079人	10.9 %
天津小湊地区	988人	10.0 %
その他市外	797人	8.1 %

年度別新規貸出登録者数

R4年度	530人
R5年度	433人
R6年度	519人

合 計	9,880人	うち 児童 (12歳以下)	1,859 人
		学生 (中高生)	1,542 人

令和7年度運営方針・実施概要

鴨川市立図書館

赤ちゃんからご高齢の方まで、みんなに親しまれ利用される図書館づくり

『鴨川市第4次5か年計画』（令和3年度～7年度）第4章「ともに学び未来を育む教育文化のまち」第2節「生涯学習の充実」に基づき、市民の多様な学習や調査研究の利便に供し、生涯学習社会の進展、高度情報化に伴う社会の変化に対応した図書館運営に努め、情報センターとしての役割を担う。

- 中・長期的展望に立った図書資料の充実
- 他の図書館や様々な機関との連携によるサービスの向上
- 学校との連携による子どもの読書量及び質の向上
- 社会的動向や市民ニーズの情報収集と活用
- 文化施設ボランティア（図書館ボランティア）の協力・支援による多様な行事の実施と利用者拡大
- 本市の特色（医療・子育て・観光）を活かした図書館運営の充実

《令和7年度 新規事業》

- 子どもの図書館利用の促進
- 千葉県公共図書館協議会第6ブロック幹事館としての事業・運営
地区館長会議の開催や職員研修事業の企画運営など、地域図書館との交流や発展をめざし、中心となって事業を担当する。（令和7～8年度）



《運営の具体的方針と実施概要》

1 また来たくなる図書館づくりを目指して（館内・館外）

- ① 図書資料の充実
 - 本の買い替え、話題の新刊本の購入、教科書掲載本の購入、分室用図書の購入等、幅広いニーズに応えられる選書と購入を心がけていく。購入の参考に利用者アンケート等も活用する。
 - 各分野の蔵書状況を考えながら図書資料の充実を図ることを目的に、選書会議を毎月実施する。
 - 子育てや絵本に関する情報誌を増やす。
- ② 資料の適切な管理
 - 書架の移動、こどものへやの文庫本専用書架の設置など資料の配置を工夫し、更に閲覧しやすくすると同時に閲覧コーナーの座席数を増やし、親子で過ごしやすい環境をつくる。
 - 本の修理やブックカバーのかけ直し等の作業を継続して行っていく。
- ③ 本のリサイクルの推進
 - 年に一度のリサイクル市その他、日常的にリサイクル用の『たいよう君ボックス』を設置し、次の方に読んでもらいたい本、自宅に持ち帰りたい本を利用者自身の手で循環させる。
※『たいよう君ボックス』…「読んでいただきたいよう」・「もらっていきたいよう」
- ④ 利用者サービスの向上
 - 利用者サービスの一層の充実を図るため、火曜から金曜の平日を午前9時30分から午後6時30

分まで、土曜・日曜・祝日を午前9時30分から午後5時30分までとしている。

- ホームページを活用した積極的な情報の発信を通して、様々な図書館主体の行事の充実を図る。
また、更新したホームページにより、図書の検索が円滑になった。ホームページ上に著作権の消失した文学作品等を無料で閲覧することができる電子図書「青空文庫」のリンクを貼り、市民が利用できるようにしている。イベントへの参加者募集では、可能な限りQRコードを使ったロゴフォームでの受付で利便性を図る。
- 利用者が学習や調査を目的として、より図書館を利用しやすいように、令和元年6月から公衆無線LANが利用可能となっている。
- 相互貸借事業の効果的な運用で、本館にない資料も利用者に提供できその利用数も増加している。
- 多様なレファレンスに応じていけるよう、職員のレファレンス能力の向上を目指していく。
- 未返却者には、「督促基準」に基づき、電話や手紙等で督促をしていく。

2 図書館利用の拡大につながるボランティア活動、行事を目指して

□ボランティア活動

- 「図書館文化施設ボランティア」を立ち上げて14年が経過した。現在30名を超えるボランティアが5つの活動内容に分かれて活動している。(おひざにだっこのおはなし会ボランティア、おはなしひろばボランティア、お話を楽しむ会ボランティア、環境ボランティア、行事ボランティア) そこでは、
 - ・図書館の活動方針を前向きに受け止め、非常に意欲的、前向きに活動している。
 - ・ボランティア同士の人間関係もよく、互いの友好を深め合っている。
 - ・多様な活動内容の工夫が図書館の活性化をもたらし、利用率向上にもつながっている。
- 乳幼児対象の「おひざにだっこのおはなし会」は毎回多くの参加者があり、お母さん方にとって子育てについての情報交換の場にもなっている。
- 「図書館子どもフェスタ」は小学生を対象に、図書館への理解と親しみをもってもらう催しである。人数制限を設け、充実感のもてる活動をめざす。
12月の「おはなしひろば」の日には、新たに「クリスマスフェスタ」を同時開催し、参加者の拡大をめざす。
- 幼稚園・小学校低学年対象の「おはなしひろば」への参加者は多くないが、読み聞かせの機会を提供していくことが大切であるため、毎月実施していく。市内こども園や、各小学校へのチラシの配布などタイミングよく周知できるよう工夫する。
- 成人向けの朗読会「お話を楽しむ会」は、名作や昔話、小説の短編等の朗読や関連した講話を聞くことで、多くの作品を楽しみ、文学に親しんでもらうことを目的に実施していく。
- 株式会社良品計画より依頼を受け、みんなみの里での「おはなし会」を出張ボランティアとして対応していく。

□令和7年度図書館主体の行事等

〔 子ども一日図書館員 〕 対象 市内の小学3年生から6年生

- ・図書館の仕事を体験することで、本の楽しさや興味を深めてもらうことを目的に実施する。
昨年度同様に参加希望が多ければ、年に2回の開催とする。

[本のリサイクル市]

- ・12月に実施予定。事前に整理券を配布する。

[読書手帳] 対象 幼児から大人まで

- ・読んだ本のタイトルを手帳に記録し、心の栄養や知恵、知識の蓄えに役立ててもらおう。読書60冊を達成した方に、記念ノートをプレゼントする。

[本の福袋]

- ・利用者の読書活動の幅を広げ、更に意欲化を図るためにジャンルごとに本を集め、貸出を行う。
※子ども用30袋、大人用30袋。一袋3冊。

[上映会]

- ・出版されている本をもとにした映画やアニメの上映を通して、図書に興味を持ってもらう。
- ・8月は平和の大切さを、12月は文学の良さを味わうことを目的として実施する。
- ・8月の上映会は「夏休みこども映画まつり」として、小学生を対象としたアニメ作品と平和教育をテーマとした短編の映画を上映する。

[世界の絵本を楽しもう]

- ・国際理解教育の一環として、幼児を対象に外国の絵本や言語に触れ、楽しみながら外国への興味・関心を高める機会とする。

[俳句講座]

- ・入門編や中級編というレベル分けをせず、7月、10月、1月の年3回実施で、年間を通じた参加者の募集をし、毎回同じメンバーで参加者の満足度と、安心して参加できる会の実現を目指す。

[ぬいぐるみのおとまり会]

- ・単独での実施ではなく、「おひざにだっこのおはなし会」（3歳くらいまで）と「おはなしひろば」（小学校低学年まで）のおはなし会と抱き合わせで実施する。参加者の対象を制限することで対象者に合った絵本の選書と行事の内容を工夫し、充実を図る。

[開けましておめでとう袋]

- ・リサイクル市で残った本を福袋のようにして袋詰めし、利用者に持ち帰ってもらう。

[絵本キャラクタークイズ]

- ・子どもの利用促進につながるように、毎月「こどものへや」で絵本のキャラクターに関するクイズを出題し、景品を出しながら絵本への関心を高め、親しみを持ってもらえるようにする。

3 遠隔地の人にも図書館の楽しさを届けることを目指して

○平成23年度より、4つの「鴨川市立図書館公民館分室」を開設し、市内のどの地域に住んでいても本が借りられるよう、利便性の向上を目指した貸出し事業を実施している。

【曾呂公民館分室】 平成23年度開設

【大山公民館分室】 平成23年度開設 ※24年度に新大山公民館（旧大山小学校）に移設

【江見公民館分室】 平成24年度開設

【天津小湊公民館分室】 平成25年度開設

○本の返却、予約本受取りサービス、本の予約等、市内すべての公民館で実施している。

○平成27年2月から、インターネット予約サービスを開始している。

4 小・中・高生の読書内容の質の向上を目指して

- 国語教科書における本の紹介や図書館利用教材の扱い、朝読書や読み聞かせの実施等、公立図書館と学校との連携強化がますます求められてきている。実態として、
 - ・市内小学校（特に1・2年生）で図書館見学をカリキュラムに位置づけたこともあり、小学生の登録者や利用者が増加している。
 - ・団体貸出券を使用して本を借り、校内（学級）に図書館の本を置いて読ませたり、授業で活用する教員が増えてきた。※団体貸出券で50冊貸出可能
 - ・市内の小・中学生の読書力向上と読書習慣の定着を目指し、図書館から紹介したい本を配本している。新刊図書の新入や定期的な本の入替えが必要となっている。
- 館内に、「中・高生向け図書」や「国語教科書で紹介されている本」のコーナーを特設している。

5 連携により、図書館活動の活性化と拡大を目指して

- 図書館単独では困難な事業も、他機関等との連携により実施が可能となっている。今後も必要に応じて積極的に連携を図り、つながりを大切にした体制をとっていく。
 - ※現在、郷土資料館（日常的に）、福祉課・子ども支援課（赤ちゃんに絵本の贈り物事業）公民館（日常的に）、土曜スクール（図書館利用、行事の案内と参加）、学童保育（出前読み聞かせ、図書館行事の案内と参加）、学校（図書館見学・体験・子ども1日図書館員・PTA研修）と連携した活動を行っている。
- 小学校からの読み聞かせの問い合わせや、公民館サークルからの出張朗読の依頼も増えている。外部機関との連携を積極的にとり、地域に活動の場を広げていく。

6 安全・安心で気持ちよく利用できる図書館環境を目指して

- ふれあいルームの設置、トイレの洋式化、授乳室の設置、障害者用トイレの設置、空調の改修工事、身体障害者用駐車場の整備、床の修繕等、利用者の利便性や快適性は改善されてきている。今後、館内外照明の全LED化が予定されている。
- 東日本大震災以降、落下防止テープの使用、大きな額の撤去、玄関上のガラスに飛散防止フィルムの貼付など必要な対策をとってきた。また、非常時における職員の動きを身につけていく。
- 安心して快適に図書を利用できるよう、引き続き図書除菌機を活用していく。

7 その他

- 土・日、祝日開館に対応するためシフト体制の勤務となり、全職員が顔を合わせる日は多くない。館内整理日には、全職員勤務日とし、意思の疎通を図る時間を持つようにする。